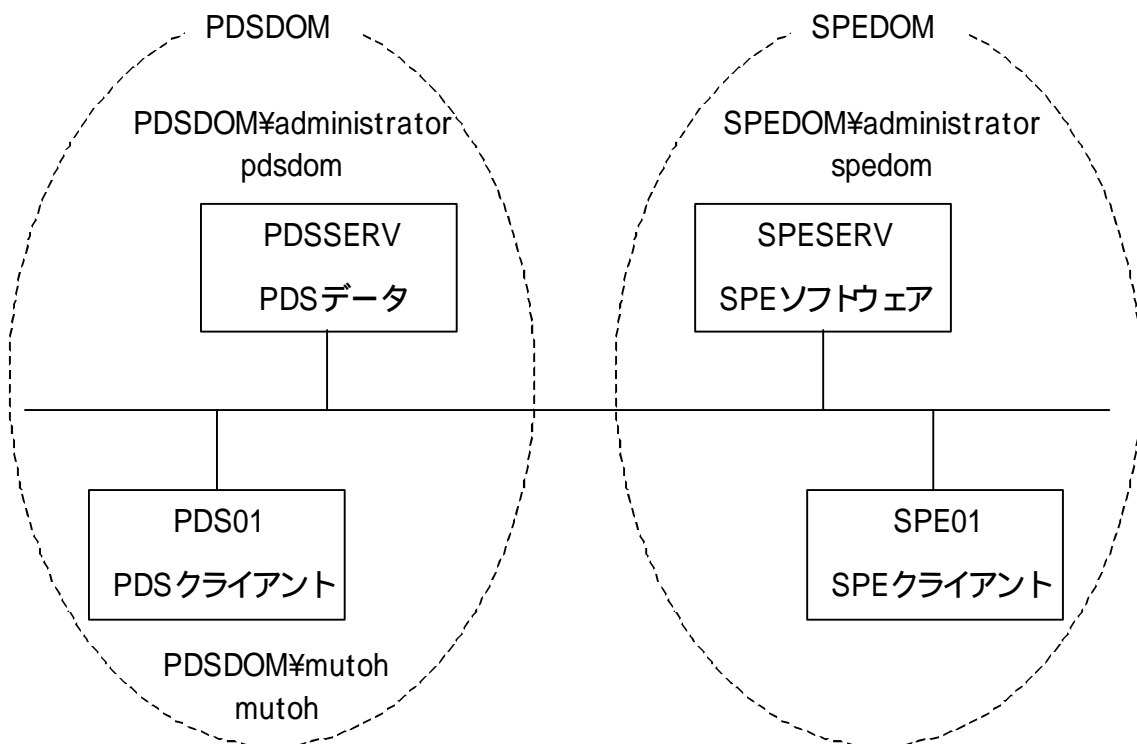


PDS サーバとドメインが異なる場合の SmartPlant Explorer 2.1 の設定方法

PDS プロジェクトのデータを格納するサーバと、SmartPlant Explorer (SPE)ソフトウェアがインストールされたサーバの間で、所属する Windows NT ドメインが異なる場合の設定方法を説明します。

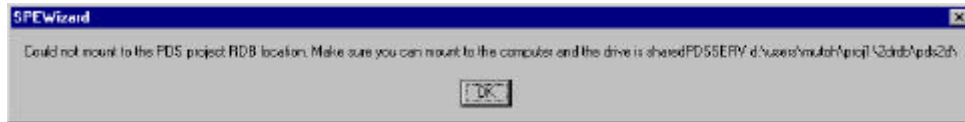
1. 構成

この資料では、下記のような構成を例として説明を行います。PDS のデータはドメイン PDSDOM 内のサーバ PDSSERV 上に格納されており、PDS クライアント PDS01 からはユーザアカウント PDSDOM\mutoh (パスワード:mutoh)によりアクセスされるものとします。SPE ソフトウェアはドメイン SPEDOM 内のサーバ SPESERV にインストールされているものとします。PDSDOM および SPEDOM のユーザ administrator のパスワードは、それぞれ pdsdom, spedom とします。



2. Publish 時のネットワーク接続

SPESErv 上でユーザ administrator により PDS プロジェクトの Publish 処理を行う際、以下のようなメッセージが表示される場合があります。

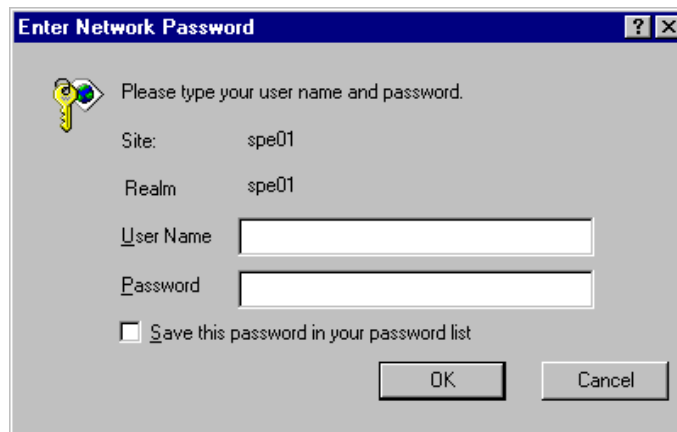


これは、PDSSERV 上のデータ(PDS2D の RDB)に対して SPESErv からアクセスしようとした時、ユーザ administrator のパスワードが異なるためネットワーク接続ができないことが原因です。Publish を行う前に、SPESErv の Command Prompt 上で以下のようなコマンドを実行し、PDS2D の RDB が格納された共有フォルダ(この例では\\PDSSERV\USERS)を接続しておきます。

```
net use * \\PDSSERV\USERS pdsdom
```

3. ドメイン間の信頼関係の確立

SPE クライアント SPE01 から Internet Explorer (IE)により SPESErv にアクセスを行う際には、ユーザ名/パスワードの入力を求められます。

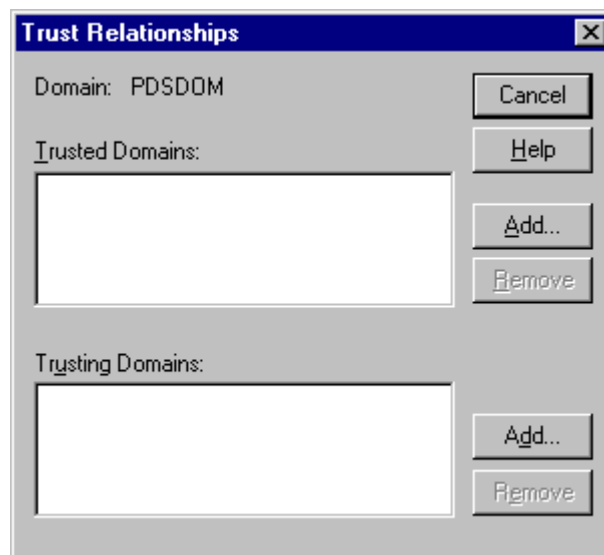


SPE により PDS データを参照する場合、例えば P&ID 図面の表示を行う際には、SPESErv が PDSSERV 上の P&ID デザインファイル(.pid)にアクセスする必要があります。このため上記のダイアログボックスでは、ドメイン PDSDOM のユーザアカウント(例:PDSDOM\mutoh)を指定することになります。

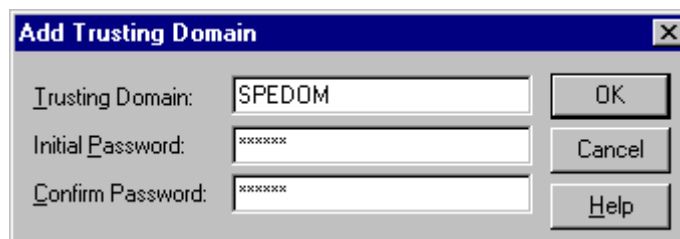
上記のダイアログボックスで入力されたユーザ名/パスワードは SPESERV に送信されますが、SPESERV では PDSDOM のユーザアカウントの認証(ユーザ名/パスワードが正しいものであるかどうかの確認)を行うことはできません。このため、PDSDOM と SPEDOM との間で‘信頼関係’を確立する必要があります。この場合、SPEDOM が PDSDOM を信頼するように設定を行います。

4. PDSDOM 側での設定

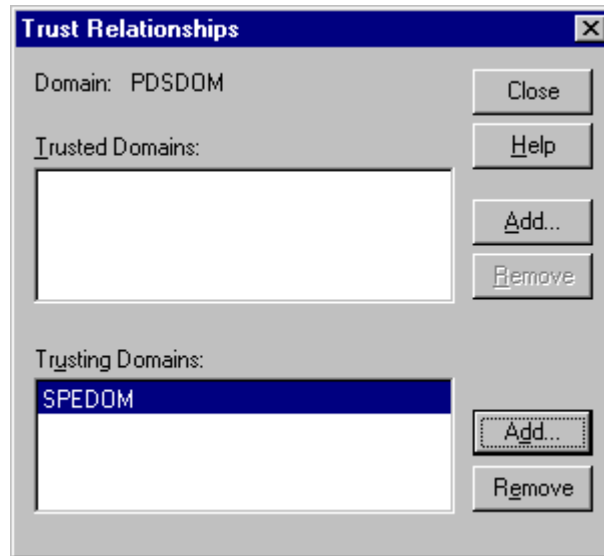
PDSDOM のドメインコントローラに administrator としてログオンし、Start → Programs → Administrative Tools (Common) → User Manager for Domains を起動します。メニューから Policies → Trust Relationships を選択します。



ダイアログボックス下側の Trusting Domains リストの右にある **Add** ボタンを選択します。このドメイン(PDSDOM)を信頼するドメインの名前(SPEDOM)、SPEDOM 側で信頼関係の設定を行う際に入力するパスワードを指定し、**OK** ボタンを選択します。

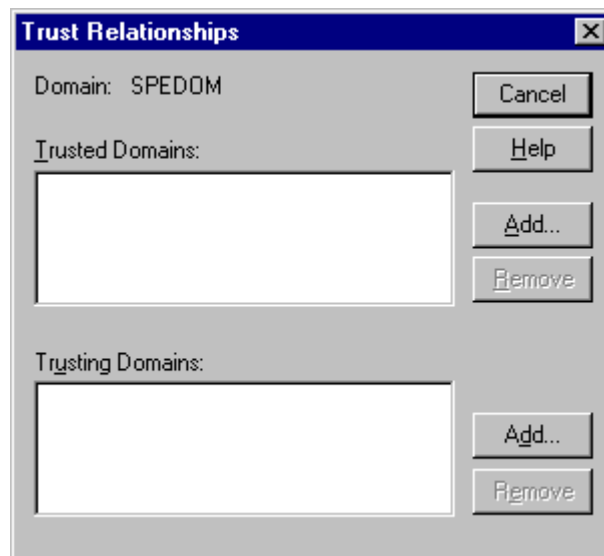


上記の操作を行うと、以下のような表示が行われます。

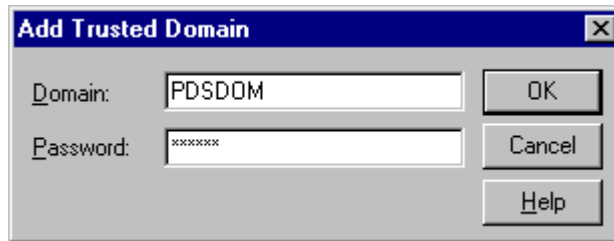


5. SPEDOM 側での設定

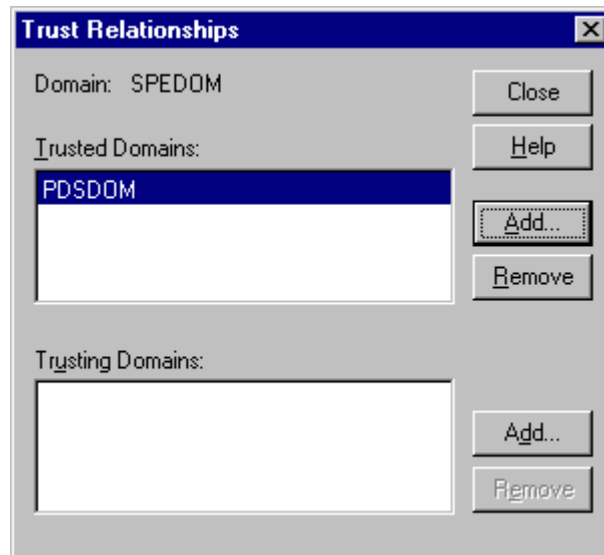
SPEDOM のドメインコントローラに administrator としてログオンし、Start → Programs → Administrative Tools (Common) → User Manager for Domains を起動します。メニューから Policies → Trust Relationships を選択します。



ダイアログボックス上側の Trusted Domains リストの右にある **Add** ボタンを選択します。このドメイン (SPEDOM) が信頼しようとするドメインの名前 (PDSDOM)、PDSDOM 側で指定されたパスワードを入力し、**OK** ボタンを選択します。



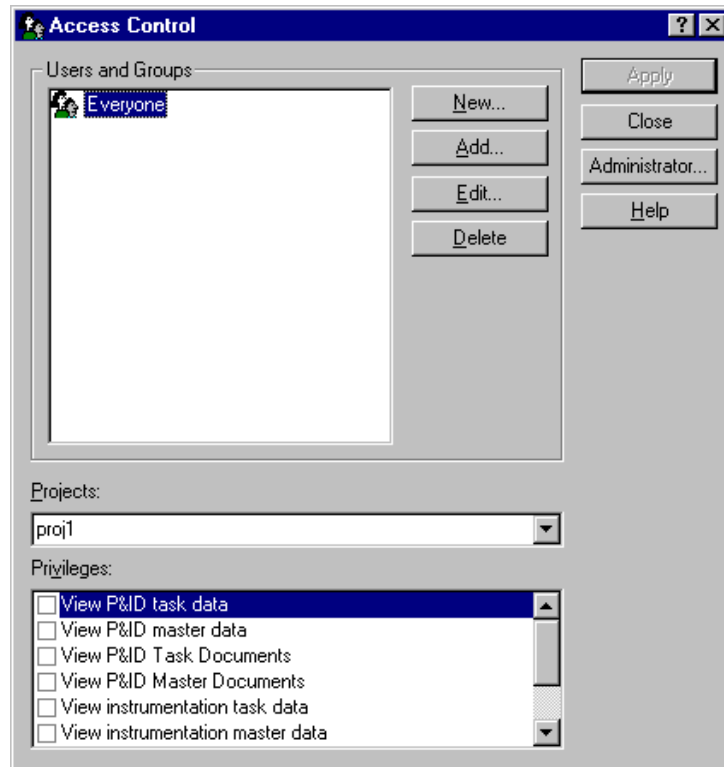
上記の操作を行うと、以下のような表示が行われます。



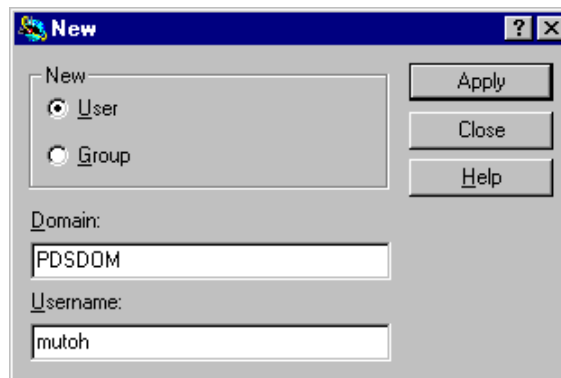
6. Access Control でのユーザ登録

SPE では、SPE クライアントからのアクセスを許可するユーザ(IE 上で入力するユーザ名)を登録しておく必要があります。この場合、ドメイン SPEDOM のアカウント PDSDOM\mutoh を SPESERV 上の Access Control で登録を行います。

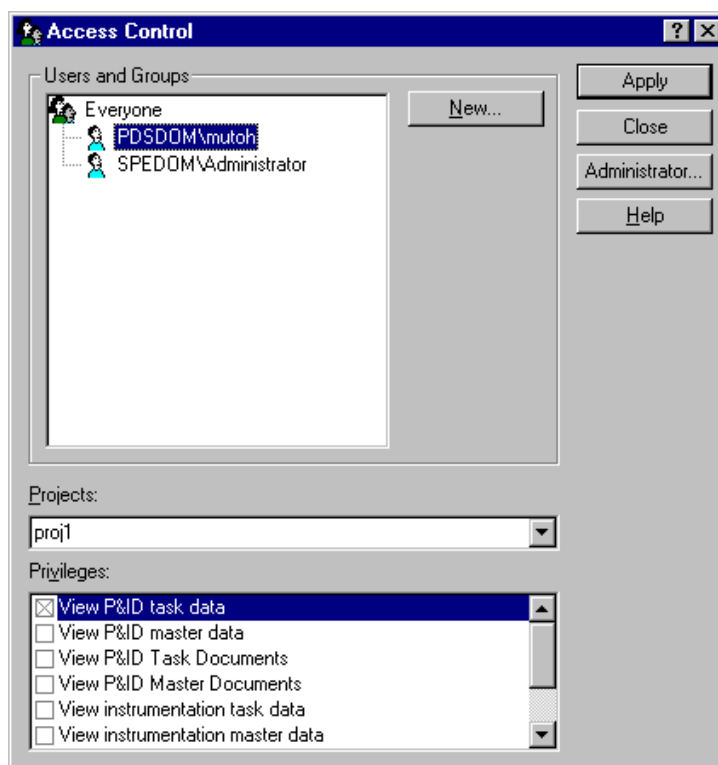
SPESERV に administrator としてログオンします。Start → Programs → SmartPlant Administrator → Access Control を起動し、**New** ボタンを選択します。



ドメイン名 PDSDOM、ユーザ名 mutoh を入力し、**Apply** ボタンを選択します。



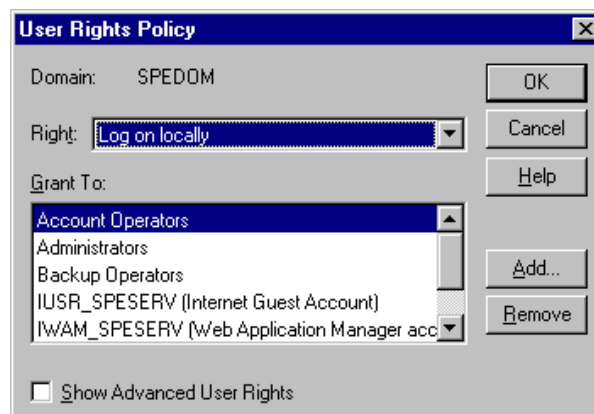
登録したアカウントに対して許可する権限を指定し、**Apply**ボタンを選択します。



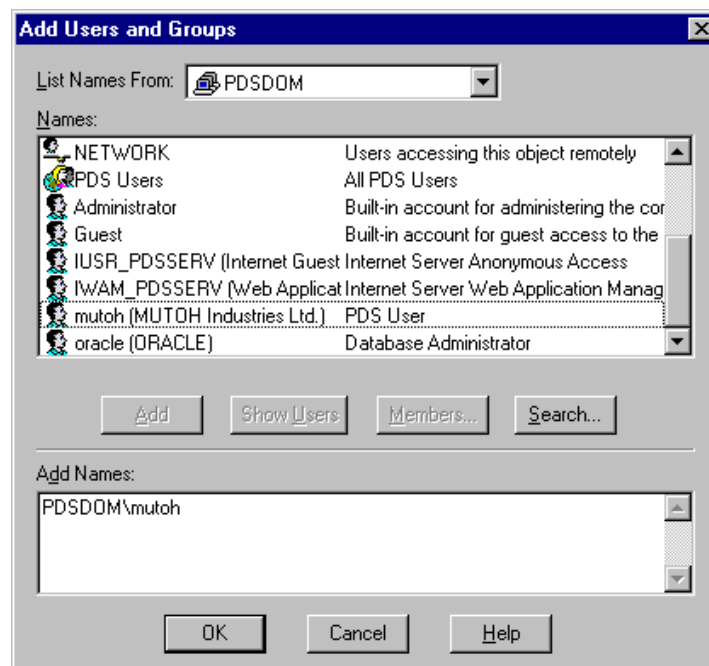
7. Log on locally 権利の許可

上記のような設定を行うと、SPE クライアント上の IE で入力されたユーザアカウントの認証は PDSSERV で行われますが、SPE の機能を利用するためには SPESERV に対して 'Log on locally' 権利が必要になります。

SPESERV に administrator としてログオンします。Start → Programs → Administrative Tools (Common) → User Manager for Domains を起動し、メニューから Policies → User Rights を選択します。Right として Log on locally を選択し、**Add** ボタンを選択します。



Add Users and Groups ダイアログボックスが表示されます。List Names From を PDSDOM に切り替え、Show Users ボタンを選択します。Names リストに表示された PDSDOM のユーザ名から mutoh を選択し、**Add** ボタンを選択します。**OK** ボタンを選択します。



User Rights Policy ダイアログボックスに戻ります。Grant To リストに PDSDOM\mutoh が表示されていることを確認し、**OK** ボタンを選択します。

